



学校便り

平成23年 1月28日
広島市立広瀬小学校
校長 中田 浩志

委員会発表

広瀬小学校には、六つの委員会（計画委員会・園芸委員会・図書委員会・保健委員会・放送委員会・体育委員会）があります。5年生・6年生が六つの委員会に分かれ、年間を通して学校内の仕事を分担し、自主的・奉仕的に活動しています。

その活動内容や各委員会のお願いなどを児童朝会で発表する機会があります。1年生から4年までに、わかりやすく、やっている仕事を発表します。



園芸委員会（7 / 13）



放送委員会（1 / 18）

昔遊び交流

1月25日（火）に1年生と地域の方で、昔遊び交流をしました。あやとり・けん玉・お手玉・こまの4種類についてやり方を教えていただきました。最初は、なかなかうまくいかなかった子どもたちでしたが、どの遊びもだんだんと上手になっていきました。

初めてやる遊びもあり、子どもたちは目を輝かせて取り組んでいました。機会があればまた、地域の方に教えてもらえたらと思います。



けん玉



お手玉



あやとり

こま

1年生より

・きょう日本一たのしいむかしあそびをしました。こままわしコーナーでぼくはうまくまわせなかったけどできるようになりました。おおたさんがこつをおしえてくれました。こつはこまをうえからまわさないようにおしえてもらいました。

・ちいきのかたがたにおしえてもらってうれしかったです。さいごのおて玉がむずかしかったけどがんばったらなんかいもできるようになってうれしかったです。こままわしはできませんでした。あやとりは1だんばしごをおしえてもらいました。できたけど1回目はへんになりました。また、おしえてもらいたいとおもっています。

・こまをまわすときなんかいもなおしてもらいました。ひくくしたらいいよといわれましました。また、日本一たのしいむかしあそびをしたいです。

・ちいきの人と日本一たのしいむかいあそびがありました。あやとりやけんたまなどいろいろなコーナーがありました。むかしのあそびはいろいろあるなぁとおもいました。けん玉のとき「じょうずだね。」といわれたのでうれしかったです。

心が温まる話

1月27日(木)の朝、心がほっとする話が三つ届きましたのでお伝えします。

・4、5年の女の子4～5人が下校中、中広大橋を渡ったところで、荷物をたくさん持った妊婦さんに、「大丈夫ですか。荷物を持ちましょうか。」と声をかけたそうです。その女性の方は、子どもからそんな風に声をかけられると思っていなかったので、感動され、近くにおられた見守りの方にそのことを話され、学校に伝わってきました。

・27日朝、3年の男の子が、職員室にやってきました。「これが、通学路に落ちていました。」みると、名刺がたくさん入った名刺入れです。すぐに連絡をとり、持ち主の男性が広瀬小学校まで来られました。「拾ってくれた子どもにお礼を言っておいてください。」と言われ、立ち去られました。

・じゃんぐるぽけっとひろせでの話です。帰る時、連らく帳を子ども一人一人に返すのですが、その時、「さん、連らく帳。」と言ってわたすと、ある子どもが、「ありがとう。」と言って受け取ったそうです。スタッフの方は、「ありがとう。」と言う言葉が返って来るとは思わなかったの、とてもうれしい気持ちになったそうです。そして、「ありがとうと言われたら、心があつたかくなつたよ。」と言うと、みんなが「ありがとう。」と言うようになったそうです。

こんな話が、広瀬学区のいたるところで聞かれるようになればと思っています。